

*当リリースは、9月27日にフォルヴィアがフランスで発表した英文リリースの抄訳です

2024.10.17

フォルヴィアが 2024 年通期ガイダンスを調整

生産見通しの低下と不透明な環境を反映

- 売上高ガイダンスを 2024 年平均為替レート（推定）で 268 億～272 億ユーロに修正
- 営業利益率ガイダンスを売上高の 5.0～5.3%に修正
- ネットキャッシュフロー（NCF）ガイダンスを 5 億 5,000 万ユーロ以上に修正
- 調整後 EBITDA に対する純負債の比率ガイダンスを年末時点で 2.0 倍以下に修正

厳しい環境の中、2025 年の業績改善に向けた施策を加速

現在進行中の売却計画の下支えにより、レバレッジ解消の主要目標値である 2025 年末時点の調整後 EBITDA に対する純負債の比率 1.5 倍未満は変更なし

調整後の 2024 年ガイダンス

2024 年売上高

最近の不利な要素を含む報道により、本年中の売上高予測にはより慎重を期す必要があります。特に注意すべき報道を以下に示します。

- 主に、電動化の継続的な減速と、CAFE（Corporate Average Fuel Economy：企業別平均燃費）規制実施への懸念により引き起こされる欧州市場の不透明感
- 北米における自動車在庫過多を受けた OEM 各社による工場閉鎖の発表と、下半期の生産予測の下方修正
- OEM における労働争議リスクの増大

市場環境の悪化は S&P が 9 月に発表した最新の予測にも反映されており、今後数か月でさらに下方修正される可能性があります。また、グループ売上高に関しては、不利な顧客構成と為替変動から影響を受けることが予測されます。

- 現在の市場環境と上市準備に関する問題を考慮して、OEM では相当数の生産開始（SOP）の延期が発生
- 中国でのアウトパフォーマンスが本年後半に期待されていたが、SOP 延期により実現は 2025 年に後ろ倒し
- 2024 年の平均為替レート的前提の更新により、2024 年下半期の売上高に、昨年 7 月の前提比で約 1 億 5,000 万ユーロの為替マイナス影響が発生

フォルヴィアの2024年の売上高は、2024年最新の推定平均為替レート¹で268億～272億ユーロと予測されており（7月の発表では「2月の当初ガイダンス275億～285億ユーロの下限値」）、オーガニックグロースは約300bpsのアウトパフォーマンスになると推定されています。

2024年営業利益率

フォルヴィアの営業利益率の予測値は5.0～5.3%であり（7月の発表では「2月の当初ガイダンス5.6～6.4%の下限値」）、次の要素が反映されています。

- 営業利益率レバレッジ15～20%
- インテリア事業は順調に回復、ただし予想より遅い

この営業利益率予測には、一部の顧客プログラムでの生産数調整による評価損の潜在的リスクに対する警戒が織り込まれています。

2024年12月31日時点の2024年ネットキャッシュフロー（NCF）および調整後EBITDAに対する純負債の比率

営業利益率の修正はEBITDAに影響をもたらし、2024年のNCF予測値は5億5,000万ユーロ以上に修正されます（前回発表は2023年以上、すなわち6億4,900万ユーロ以上）。その結果、2024年12月31日時点の調整後EBITDAに対する純負債の比率は2.0倍以下（前は1.9倍以下）と予測されています。

上記の数値は、昨日のフォルヴィア・ヘラーの発表を全面的に反映しています。

厳しい環境の中、2025年の業績改善に向けた施策を加速

フォルヴィアは、2025年の環境も引き続き厳しくなると予測しています。これは主に、**欧州**での自動車生産（グループ売上高の約45%を占める）が、全般的な経済環境とパワートレインミックスの進化がもたらす不確実性の影響を受け、強い圧力が継続することに起因します。欧州での2025年の自動車生産台数は、2024年の数値を下回る可能性があります。しかしこのような状況にもかかわらず、欧州でのフォルヴィアの事業は、2024年に開始され、2025年に最初の大きな効果が期待される「EU-FORWARD」プログラムなどにより、全体的な営業利益率の改善が見込まれています。

一方で欧州とは逆に、**中国**（グループ売上高の約20%を占める）では、2024年に後ろ倒しされていた顧客プロジェクトの開始や、国内の新規顧客への販売拡大により、2025年には成長が見込まれ、大幅なアウトパフォーマンスをもたらします。同国はグループの営業利益率に貢献し、今後も2桁の利益率の維持が期待されています。

¹ 1.09米ドル/ユーロ、7.84中国元/ユーロ、1,171アルゼンチンペソ/ユーロ、41.6トルコリラ/ユーロ

この変動する環境に備え、2025年の業績を前年以上に改善するために、 فولヴィアは主要イニシアチブとアクションを加速させます。

- 「WEST TO EAST」による中国 OEM との優れた関係性をさらに強化

このイニシアチブは、アジアにおける فولヴィアの強いプレゼンスの活用を目的としています。特に、当社がティア 1 サプライヤーとして第 5 位にランクする中国では、同国内の OEM とともに高い市場シェアを達成しています。この地域における自動車生産の成長ポテンシャルは非常に高く、最近の受注状況にも反映されています。今後、2028 年までに世界売上高の 35%以上を達成し、10%以上の営業利益率を維持する予定です。

例えば中国では、スマートかつ持続可能なコックピット事業において奇瑞汽車（CHERY）との合弁事業が 2025 年に急成長し、 فولヴィアは同国における自動車生産のアウトパフォーマンスが少なくとも 300bps まで回復する見込みです。

また、アジア市場外における中国の顧客との関係強化も継続しており、特に BYD とはハンガリーでの新たな協力を通じて、奇瑞汽車とは今後スペインで行われる開発の支援をもって関係を強化します。これらの施策により、欧州の OEM 構成の変化に影響されることなく欧州での市場シェア強化することが可能です。

- EU-FORWARD の推進を加速

2024 年に開始、5 年間にわたり実施される同イニシアチブは、欧州におけるグループ事業の競合力とアジリティを強化し、欧州の製造・研究開発体制を地域環境の急速な変化に適応させることが目的です。

- ✓ 2024 年末までに 2,800 人以上の人員を削減し、年換算で約 1 億 2,000 万ユーロの損益を削減
- ✓ 2025 年末までに、累計 5,800 人以上の人員を削減、年換算で約 2 億 7,000 万ユーロの損益削減を達成。この時点で、約 1,000 人の自然減を含め、約 5,500 人が退職する見込み。構造改革費用を 2024 年 2 月に発表した当初の水準に抑えた場合、2025 年の損益にプラスの影響をもたらす額は 1 億 8,000 万ユーロ以上と予測

EU-FORWARD イニシアチブは 2024 年から 2028 年までの計画となっており、今後さらに推進が加速されます。人員の削減に関しては、2027 年末までに 5 年間の人員削減計画全体の 90% 以上を完了する見込みです。

- フォルヴィア・ヘラー統合によるシナジー効果の目標を引き上げ、2025 年末までに 4 億ユーロのコスト効率化

2025 年末までに累計 3 億 5,000 万ユーロ以上のコストシナジー効果を達成するという目標は、特に購買や事業分野での追加イニシアチブを活用した結果、4 億ユーロに上方修正されました。

現在進行中の売却計画の下支えにより、レバレッジ解消の主要目標値である 2025 年末時点の調整後 EBITDA に対する純負債の比率 1.5 倍未満は変更なし

7 月に告知した通り、2025 年ガイダンスの詳細については当グループの慣行に従い、2025 年 2 月 28 日に、フォルヴィアの 2024 年度の実績とあわせて発表されます。

2025 年売上高

アジアの成長が欧州の生産減を補うことで 2025 年の世界自動車生産台数は 2024 年比で安定すると仮定した上で、フォルヴィアは 2025 年も、特に中国でのアウトパフォーマンスを含めて世界の生産台数が引き続きアウトパフォーマンスを実現することを確認しています。

本年 7 月に 2025 年度売上高予想は 280 億～285 億ユーロと発表されましたが、この数値は、世界の自動車生産の最新見通しに基づいて 2025 年 2 月に更新される予定です。

2025 年の営業利益率と NCF

フォルヴィアは、以下の施策を通じて、2025 年の営業利益率と NCF を 2024 年比で大幅に改善する予定です。

- ✓ 上記「EU-FORWARD」および「WEST TO EAST」イニシアチブの加速、フォルヴィア・ヘラーとのシナジー効果の増大
- ✓ 上市への確実な準備態勢、業務効率の向上、サプライヤーおよび顧客とのリスク軽減のための果敢な行動
- ✓ 在庫の継続的削減、2025 年に約 3 億ユーロの運転資本流入を促進
- ✓ 設備投資および研究開発費を、絶対値でも売上高に占める割合でも大幅に削減し、2025 年には 20 億ユーロ未満に抑制

2025 年 12 月 31 日時点の調整後 EBITDA に対する純負債の比率

フォルヴィアは、継続的なキャッシュフロー創出の改善と対象資産の売却により、2025 年 12 月 31 日時点の調整後 EBITDA に対する純負債の比率を 1.5 倍未満に抑制することを「POWER25」の主要目標とします。

継続的なレバレッジ解消に加え、最近の借り換えにより 2024 年および 2025 年の満期がほぼ完全にクリアされたことから、フォルヴィアは今後も市場機会に応じて積極的に負債を管理し、欧州と米国ですでに実施されている金融緩和政策の恩恵を今後数年間受けることが期待されています。

フォルヴィアについて: “人々にとって大切なモビリティ・エクスペリエンスを実現する技術を先駆的に開発する”

世界第 7 位の自動車技術サプライヤーであるフォルヴィアは、フォルシアとヘラーの技術および生産上の強みを補完し合うことで構成されています。世界 40 カ国以上に 290 以上の工場と 76 の R&D センターを持ち、15,000 人以上のエンジニアを含む 15 万 7 千人の従業員を擁するフォルヴィアは、現在および将来の自動車産業の課題に対して独自の包括的なアプローチを提供しています。6 つのビジネスグループと 14,000 件以上の特許を有する強力な IP ポートフォリオで構成され、世界のカーメーカー各社からイノベーションおよび統合のパートナーとして選ばれることに注力しています。2023 年度のグループ連結売上高は 272 億ユーロでした。フォルヴィアは、ユーロネクスト・パリ市場に FRVIA の二モニックコードで上場しています。フォルヴィアは、モビリティの変革を予見し、実現することを約束するチェンジメーカーとなることをめざしています。www.forvia.com

免責事項

本文書には、フォルヴィアの将来の見通しに関する一定の記述が含まれています。このような将来の見通しに関する記述は、傾向や目標を示すものであり、将来のフォルヴィアの業績やその他の業績指標に関する予測として解釈されるものではありません。「推定する」、「見込む」、「期待する」、「見積もる」、「計画する」、「意図する」、「目的」、「信ずる」、「予測する」、「予見する」、「恐らく」、「かもしれない」、「だろう」、「目標」、「目標値」、「ひょっとして」、「するだろう」、「するつもりである」、「はずである」、「予想する」、「続ける」、「確信する」、「自信」などの将来の見通しに関する単語、こうした単語の否定形や複数形、そして他の同等の用語で、こうした将来の見通しに関する記述を特定できる場合もあります。本文書におけるこうした記述には、財務予測、推定、およびその基礎となる仮定が含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、こうした仮定には、現在および将来の事業戦略（フォルヴィアグループへのヘラーの順調な統合を含む）に関する仮定、フォルヴィアの事業運営に関する予想および記述、そしてフォルヴィアの事業の将来の運営、方向性および成功に関するものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。フォルヴィアは、その予想が合理的な仮定に基づいているものと考えますが、こうした将来の見通しに関する記述は、既知または未知のさまざまなリスクおよび不確実性などその他の要因に左右されます。そして、こうしたことすべては、フォルヴィアが制御できる範囲を超える可能性があり、その結果、実績がこうした将来の見通しに関する記述で期待されたものと著しく異なる場合があります。投資家は注意を払う必要があります。こうしたリスクおよび不確実性、ならびにその他の要因についての詳細は、フランス金融市場庁（AMF）に提出した公的書類、プレスリリース、プレゼンテーション、特に2024年2月27日にフォルヴィアがAMFに提出した、フォルヴィアの2023年ユニバーサル登録文書第2節「リスク要因とリスクマネジメント」（No. D. 24-0070、www.forvia.com で入手可能）をご参照ください。フォルヴィアは、新しい情報、将来の出来事その他の結果にかかわらず、こうした将来の見通しに関する記述を法的な要求事項として公に更新し、修正する責任を負いません。ここに含まれる過去の業績に関連するいかなる情報も、将来の業績を保証するものではありません。本文書の内容は、投資の推奨としても、法律・税務・投資・会計上の助言としても解釈されるべきものではありません。本文書に含まれるヘラー関連の過去の数値は、買収過程で本社からフォルヴィアに提供されたものです。フォルヴィアの監査役はこうした過去の数値の監査は行っておらず、またこうした数値はフォルヴィアの監査役による限定的な評価の対象ではありません。フォルヴィアヘラーは引き続き上場企業です。フォルヴィアヘラーについての詳細は、www.hella.com をご参照ください。本文書は、フォルヴィアの有価証券の売却または購入申込みの勧誘として見なされるものではなく、またそのように解釈されるべきものでもありません。

本文中で使用されている用語の定義

売上高の変動

フォルシアでは、前年比の売上高の変化は、次の3つの要素で構成されます。

- 前年度の売上高にその期間の平均為替レートを適用して算出された「為替差損益」
- 「連結範囲の変更による影響」（買収・売却）
- 「為替変動の影響を除いた成長」

フォルシアは、年間ベースの売上高が2億5,000万ユーロを上回る企業の買収および売却をすべて「連結範囲の変更による影響」として開示しています。

この基準値を下回る買収については「ボルトオン買収」と見なされ、「為替変動の影響を除いた成長」に含まれます。

2021年には「ボルトオン買収」による影響はありませんでした。その結果、「為替変動の影響を除いた成長」は、一定の連結範囲と為替レートにおける売上高の変動（オーガニック変動とも表示される）に相当します。

営業利益

営業利益は、フォルシアグループの主要業績評価指標です。これは、以下を反映する前の、完全連結会社の純利益に相当します。

- 企業結合で取得した無形資産の償却費
- 重要で特別かつ経常外の項目に対応する、その他の経常外営業利益および費用。これには、組織再編費用や早期退職費用のほか、事業の中止、工業用地の閉鎖または売却、営業外建物の処分等の例外的な事象の影響、有形固定資産または無形資産について計上された減損損失、およびその他の重要かつ特別な損失が含まれます。
- ローン、現金投資、および市場性のある有価証券からの収入、および金融費用
- その他の金融収益および費用。これには、年金給付債務の割引による影響や関連制度資産からのリターン、金利・為替ヘッジの無効部分、IFRS 第9号に基づいて明示できない関係性のなかで定められた基準をヘッジ関係が満たさない金利や為替商品の価値変動、および子会社株式の売却による損益が含まれます。
- 税金

調整後 EBITDA

調整後 EBITDA は、上記で定義している営業利益と、資産の減価償却費および償却費を合算したものです。フォルシアグループでは、ESMA（欧州証券市場監督局）の規制を順守し、2022年1月1日からそれまでの「EBITDA」に替わり「調整後 EBITDA」を用いています。従って、2021年度までの「EBITDA」数値は、2022年度以降の「調整後 EBITDA」数値に相当します。

ネットキャッシュフロー

ネットキャッシュフローは次のように定義されます。営業活動および投資活動によるキャッシュフローから、資本持分および事業の買収・処分（現金および現金同等物を控除）、金融資産の処分によるその他の変動と収入を差し引いたもの。IFRS 第16号の債務の返済は含まれません。

純金融債務

純金融債務は次のように定義されます。総金融債務から現金および現金同等物、非流動資産および流動資産に分類されるデリバティブを差し引いたもの。これにはリース負債（IFRS 第16号の債務）が含まれます。